

川をきれいに! 水を大切に!

# 私たちの 水道

## 水の旅

みずのたび

水道の水のふるさとは、高い空の上にある大きな雲です。雨雲から雨や雪になり、山や野原に舞い降りたときから水の長い旅が始まります。

雨水や雪解け水は地面にしみ込んで地下水になり、また、せせらぎや小川になって旅を続けます。やがて、あちこちのせせらぎや小川は、水を溜めるためのダムや貯水池に集まります。

そこに集まった水はさらに旅を続けます。そして浄水場で水道水や工業用水になります。途中、お米や野菜を育てるために農業用水として使われる水もあります。

水はきれいに見えても細かい不純物が含まれています。また、川の途中では生活排水（洗剤や油の混ざった水）やゴミなどで汚れてしまうこともあります。その水を安心して飲む水道水に変えなければなりません。それが浄水場の仕事です。

こしがや まつ ぶしすい どう きぎょうだん  
越谷・松伏水道企業団

